

保護者からの児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年3月30日

事業所名 はあとキッズi新山口

保護者等数(児童数)30人 回収数20人 割合67%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応等
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	1		1	広がった分いろいろ動きまわっていて楽しそうだが、落ちつける空間があれば、なおよかったなあと感じます。	構造上、壁を作ることはできませんが、レクの時間やスペースごとに分けるなどし、対応していきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1	2	8		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(※1)になっているか。また、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	1		2	勉強をする所も遊ぶ所もワンフロアなので、気が散るとよく言っています。落ちつける空間が少しでもあれば、もっとよかったのかなあと感じた。	フローアを変えるなどの工夫をし、レクの時間やスペースごとに分けるなどし、対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18			2		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画(※2)が作成されているか	20				保護者の思いや課題など計画表に作成してあります。	引き続き、しっかりと話し合いの場を持ち、課題解決に力を入れて参ります。
	6	個別支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20				こちらの思いをよくくんで下さる内容になっていた。	
	7	個別支援計画に沿った支援が行われているか	15	2		3		
	8	活動プログラム(※3)が固定化しないよう工夫されているか	15			5	長期休みはいろいろ工夫されていて、目に見える型で作成してあるので、子供にもわかりやすい。	今後も、たくさん体験ができるよう、いろいろな企画を考えております。保護者の方にもご協力いただけると助かります。
	9	保育所や幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2		1	17	コロナ禍のため、一緒に活動することはあまり聞いていません。コロナ禍が終息したら、以前のようにいろんな方との交流があればと思います。	現在、コロナ禍なりの交流の仕方を検討しています。以前のようにアクティブに動けないかもしれませんが、決まり次第、保護者の方々にはご相談させていただきます。
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1		4		契約時に一通りお話をさせていただいています。ご不明の方は再度ご説明させていただきますのでよろしくお願いたします。
	11	児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20				ていねいに説明を受けた。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※4)等)が行われているか	3	2	2	13		まだ実施していません。以前おこなっていたカフェなどを通し、実施できたらと思っています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	15	3		2		できるだけ、送迎時などに話をさせていただくようにしています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	3	1	4	育児での悩みや、接し方など、アドバイスを頂いていて、とても助かっている。	お迎えや送迎の時に少しお話をさせていただくことはあります。

	15	保護者会等の開催、親子行事等により保護者同士の連携が支援されているか	10	4		6	コロナが終息したら、以前のように、親子行事等開催してほしい。準備は大変だと思いますが、親も子ども楽しみにしているので。	本年度は保護者会の開催のみになってしまいました。また時期をみて親子行事等企画させていただけたらと思います。その時は、事前にご連絡いたします。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、それが保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	1	1	5	こちらからの相談や苦情にも、すぐ対応して下さり、子どもも安心して、自分の思いなど話すようになった。苦情に対して、申しわけないくらい対応してもらっている。	できる限り、頂いたご意見には真摯に対応させていただいております。気になる点がありましたら、申し頂けると助かります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	3		3		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18			2	おたよりも発行される回数が減りましたが、2ヶ月に1度のおたよりは、とても楽しみです。又、ホームページもたまに見ますが、とても楽しそうに活動する姿が見れて、うれしいです。	引き続き、SNSやおたよりなどで事業所の活動を発信できたらと思っています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16			4	ホームページ等には、子供達の顔がわからないようにしてあって、個人が特定されないのが安心です。	
非常時の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	2		10	感染症対策等の説明はよくされていると思う。訓練があるかまではよくわからない。	この度、保護者面談では緊急時の対応を書式にし配布させていただきました。訓練等も定期的にも実施している旨もSNSやおたよりを通して報告させていただきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2		13	避難訓練等、行われているが、子供からあまり聞かないのでよくわからない。	保護者会やその他SNSやおたよりなどで報告させていただきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	4	1	3	少しイヤな事があると、行かないと言いますが、行くと楽しんで遊んでいると職員さんから聞くので、それなりに楽しんでいるように思います。	子どもたちの想いに寄り添った対応ができるよう、努力していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	14	5	1		子供はいろいろ言いますが、親の立場から見れば、満足しています。よく見て下さっているなあと感じます。	環境設備も含め、可能な限り、それぞれの障がい特性に合わせた支援ができるよう、努めていきます。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

（注釈）

（※1）「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、この部屋で何をするのか、これから行うことの流れを示せるように、机の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。これから行うことの流れ（始まりと終わりなど）を示して混乱のないようにすること等も含まれます。

（※2）「個別支援計画」とは、事業所を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。その後も定期的に見直し、その都度保護者の同意を得ます。

（※3）「活動プログラム」とは、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

（※4）「ペアレント・トレーニング」とは、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得すること等を目標とします。職員が保護者から相談を受けたり、必要に応じて助言します。